

EA916X-18

防沫型メガホン(中型)

- 仕様 ●通達距離…音声:約315m
サイレン:約500m
●定格出力…15W(最大23W)
●電源…単2電池6本 又は
単3電池6本(電池アダプター使用)
●電池持続時間

	音声	サイレン
単2×6本	約14時間	約20分
単3×6本	約5時間	約10分

- サイズ…319×210×291(H)mm
●重量…950g(電池含まず)
●抗菌仕様(マウス、ハンドル部)
●材質…ASA樹脂
●付属品…単2→単3電池変換用アダプター×3
●防沫形(IPX4)

●電池は付属しておりません



電池アダプター装着前



電池アダプター装着後



※電池アダプターを使用することにより、単3電池での使用が可能になります。
※単2電池と単3電池の併用はできません。万が一使用の場合は故障の原因となりますのでお気を付け下さい。

■ 概要

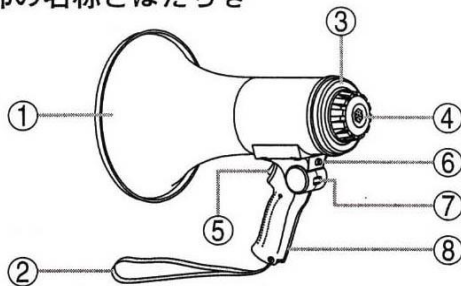
本機は、単2形・単3形乾電池*の2種類が使用できる、定格出力15 Wの防まつ形 (IPX4) の防滴メガホンです。サイレンスイッチがありハンドルと送話口は抗菌処理を施しているの、衛生上、安全に使用できます。

* 単3形乾電池を使用するときは、付属のバッテリーアダプターが必要です。

■ 使用上のご注意

- 本機の防水性能は、雨などの水の飛沫がかかるような状況でも使用できる防まつ形 (IPX4) ですが、水中や強い雨で使用したり、直接水をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- 万一、次のような異常が起きたら、販売店にご相談ください。そのまま使用すると故障の原因となります。
 - ・ 煙が出ている、変なにおいがするとき
 - ・ 内部に水や異物が入ったとき
 - ・ 音が出ないとき (電池が正しい方向に挿入されており、消耗もしていないことを確認後)
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 長時間電池を入れたままにする場合は、電池が切れていないか、液漏れしていないかなどを定期的に点検してください。
- 長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。メガホン内部が発熱し、故障の原因となることがあります。
- 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。
携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
- ケース外部の汚れの清掃には、水に濡らして固く絞った布を使用してください。また、ひどい汚れには、中性洗剤をしみこませて固く絞った布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類などは絶対に使用しないでください。ケースの変形や変色の原因になります。

■ 各部の名称とはたらき



① スピーカー (ホーン部)

② ベルト

持ち運ぶときなどに、肩にかけて使用します。(長さ: 約50 cm)

③ マウス

内部に電池収納部があります。電池交換で、開けるときは反時計方向に回し、閉めるときは時計方向に回します。

④ 送話口

送話口から1 cm程度の距離で話します。抗菌処理を施しているため、衛生上、安全に使用できます。

⑤ トークスイッチ

押すと電源が入り、拡声できます。離すと電源が切れます。

⑥ 信号音スイッチ (ER-1115S/Wのみ)

押すとサイレン音が鳴り、もう一度押すと止まります。



信号音の音量は一定です。ボリュームで変化しません。

⑦ ボリューム

右の方へ回すと、音量が大きくなります。



音量 大

⑧ ハンドル

抗菌処理を施しているため、衛生上、安全に使用できます。

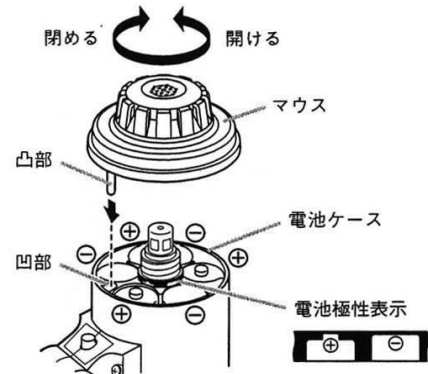
■ 電池交換のしかた

1 マウス部を反時計方向に回して、マウスを外す。

ご注意 本機が濡れているときは必ず水をよく拭き取り、乾燥させてから外してください。

2 電池収納部の電池極性表示に従って、単2形乾電池 (6個) を入れる。

3 マウスの裏側にある凸部を電池ケースの凹部に差し込み、マウスを時計方向に回してしっかりと閉める。



● バッテリーアダプターの使いかた

付属のバッテリーアダプターを使うと、単3形乾電池 (6個) でも使用できます。付属のバッテリーアダプター3個を電池ケースに挿入し、電池極性表示に従って電池を入れてください。



ご注意

- 単3形乾電池と単2形乾電池を混同して使用しないでください。電池の発熱や液漏れなど故障の原因となることがあります。
- 単3形乾電池を使用する場合の電池持続時間は、単2形乾電池使用時よりも短くなります。

■ 使いかた

⚠ 注意

- トークスイッチを押す前には必ずボリュームを最小にしておいてください。
- 音量テストをするときは、スピーカーを地面に向けて行ってください。

1 トークスイッチを押しながら、ボリュームでハウリング (キーンという音) が起こらないように適当な音量に調節する。

室内など音の反響が多い場所ではハウリングが起こりやすいので、特に電池が新しい場合はボリューム目盛りを最大まで上げることができません。ボリューム目盛りの位置は、中間程度を目安に音量を調節してください。

2 送話口から1 cm程度の距離で、大きめの声で話す。

※ 送話口を離し過ぎたり、小さな声で話したりすると、音量不足になることがあります。

ご注意

送話口の穴に水滴がたまると、著しく音量不足になることがあります。水滴を布などで拭き取るか、十分乾かしてから使用してください。

サイレンを鳴らしているときでも、トークスイッチを押すとサイレンが停止し、拡声できます。スイッチを離すと、再びサイレンが鳴ります。